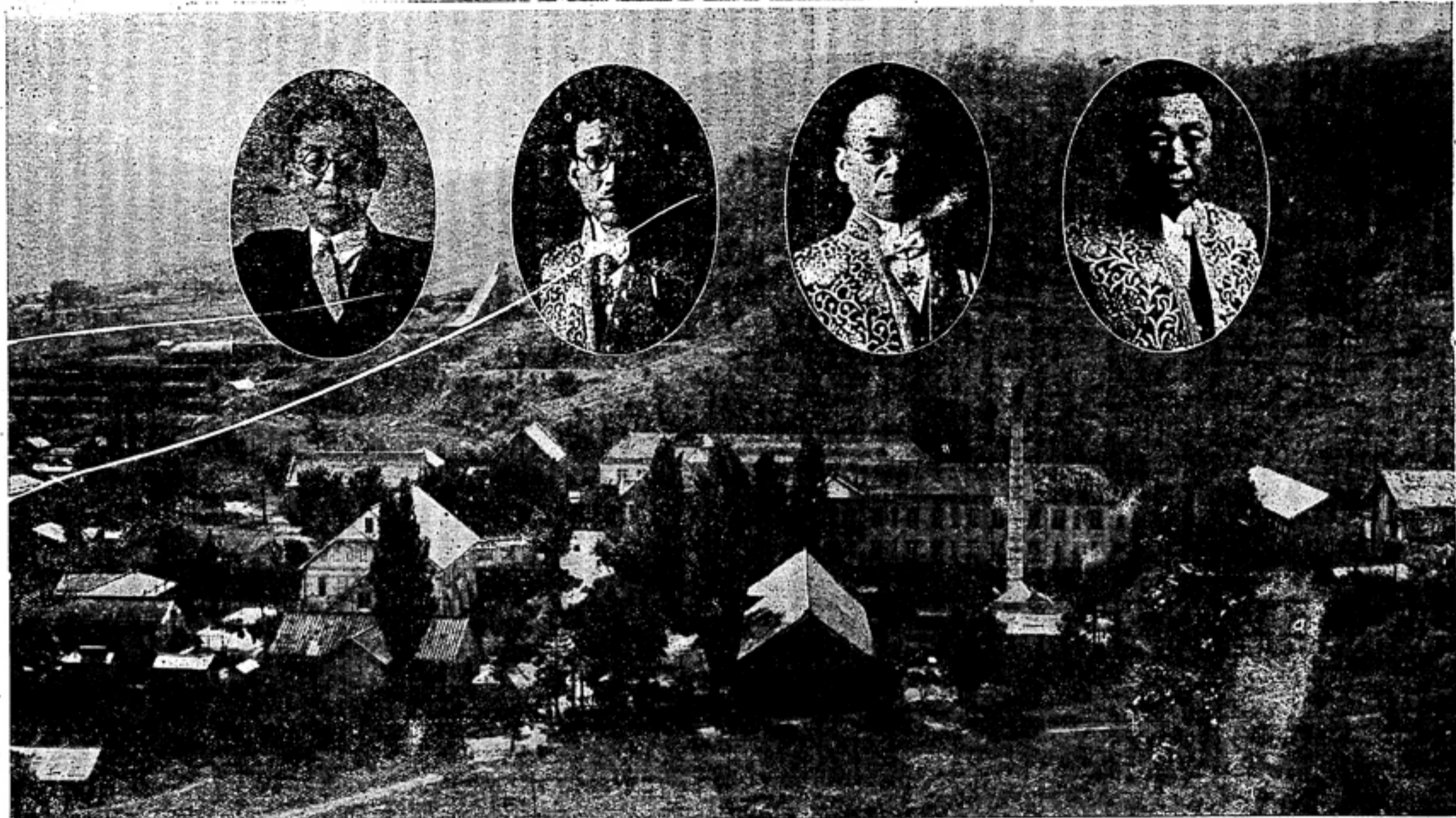


# 號輯特念記年周五拾叁立創

專經編小



本校一第 金一四會員  
編輯 大崎 會澤 藤原  
印刷 藤原 田中 坂本  
社人 内海 幸次郎  
社址 緑丘  
電話 二二二二



## 小樽經濟專門學校々歌

時雨音羽 作歌  
杉山長谷夫 作曲

一、金鱗をどる渺々の  
あけぼの稱ふ浪の唄  
エルムの花に若人の  
涯なきのぞみ数々秘めて  
夢うるはしの  
緑ヶ丘よ。

二、夕陽映ゆる白樺の  
梢をわたる風の唄  
慈愛の山のふところに  
銀蕨みがき駿足秘めて  
唄はがらかの  
緑ヶ丘よ。

三、蒼穹はてず道つきず  
はるかに仰ぐ北斗星  
榮冠迎ふこの腕に  
飛躍の力ひと、き秘めて  
花咲き匂ふ  
緑ヶ丘よ。

四、健腕拓く五大洲  
凱歌はあがる我母校  
感激みてる若人の  
血潮に清き教へを秘めて  
春永遠の  
緑ヶ丘よ。

## 創立三十五周年を迎へて

大野純

本校は本年創立三十五周年を迎へるに至つた。この機会に少しづつ往時を追憶し將來への覚悟を新たにしたと思ふ。願ひれば本校が當時僻遠の地に建てられた本市に風々の聲を揚げたのは明治四十四年の四月であつた。當時我が國は日露戦役の後を受け領土に増進し、産業の振興高等實業教育の促進が朝野の各方面に於て叫ばれたのである。恰もこの時北方文化開發の要人と本校先覺者の熱望と提唱との下に本校の創立が實現せられたのである。初代校長渡邊龍雄先生は文部省留學生として伯林大學に於て研究繼續中本校校長の内命を受け爾來歐洲各國の實業教育を深く観察し多大の抱負を以て歸朝せらるゝや直ちに本校創立の任にあたらせられた高遠なる理想と該博なる識見とを以て全力を傾注して經營策勵し本校に磐石の基礎を据へられた御心勞は想像に餘りあるものがある。斯くて御在任十有餘年一日の如く理想の實現に邁進せられ人格學識共に異色ある卒業生の育成に専念されたる御功績は石に刻して永遠に傳ふべき偉大なものである。

かくして先生が大正十一年十一月古厩に轉ぜられるや首席教授房次郎先生が第二代理校長に榮進せられたのであるが、久しからずして經濟界は未曾有の不況時代を迎へ倒産相つぎ失業者衝に満つる状況となり本校亦その渦中に巻き込まれ誠に憂鬱なる卒業式が何年も續いたのである。この苦しい期間に於て春風臨澗たる如き温容の下に毅然として傳統精神を堅持するに努められたる校長の御苦心は到底筆舌のよく盡す所ではない。ここに吾々の見送してならぬ事はかゝる不況の中に社會に投げ出され其に辛酸を嘗め盡したる當時の卒業生が道徳に磨かれた不屈不撓の精神を以て今社會の各方面に重要な地位を占めてゐるといふ事實である。

件先生は昭和十年四月迄御在任、功績多岐に及ぶに及び古米地英俊先生が第三代理校長として就任せられたのであつた。古米地先生は前二代理校長の意圖を継ぎ俊敏なる御才幹を以て鋭意校務の開展に精進せられたのであるが、今より回顧すればこの時代は全く戦争に終始したのであつた。國民は昭和十二年七月北支の一隅に端を發した日華事變が世界を相手とする大戦争にまで進展し遂に今日の戦局を招来しやうとは神ならぬ身の知る由もなかつたのであるかくして本校も戦時體制下に置かれ全員協力一致して國家の危急を救はんと懸命の努力を致したのであるが昭和十六年十二月には最初の学徒出陣として未完成的の生徒を戦線に送り爾來修業年限の短縮により二年六ヶ月の課程を終へた卒業生はそのままた校門より奮門へ祖國の急を馳せ赴いたのである。かくして若人の純情を國に捧げて遂に歸還せざるもの百有餘名を算するに至つたことは私共の傷心悲痛に堪へないところである。

斯くて昨二十年八月世紀の悲劇は終りを告げ我が國は戰敗國として未曾有の難局に直面するに至つたのであるが、偶々古米地先生は衆議院議員選挙に立候補せられ次で退官せらるゝに及び不肖嗣も第四代理校長任命の内意を受け淺學菲才到底その任にあらざることは萬々承知を致してゐるのであるが國に捧ぐべかりし命を學校に捧ぐる覺悟を以て御引受けした次第である。

## 祝 辭

今や我が新國家再建といふ無量の急に直面しつつあるのであるが、滿身奮闘未だ塞えず再建の大業は日暮れて途遠き感なしとせぬ。しかし乍ら編組編組は刃の利鈍を試すと稱せられる。狂亂怒濤の間にこそ眞に勇兒の進むべき道は開かれるのである。吾々は徒らに返らざる日を悔ゆることなく武力戰の敗北に意氣沮喪することなく平和日本、文化日本の再建に渾身の力を傾けなければならぬ。

希くば創立三十五周年の記念日を契機として本校風采を發揮しこれを小にしてはよく艱難に堪ふる鏗磨を積みこれを大にしては經濟復興の一翼を荷ひ以て文化日本再建の大業に貢献せんとする決意を固めんとする次第である。

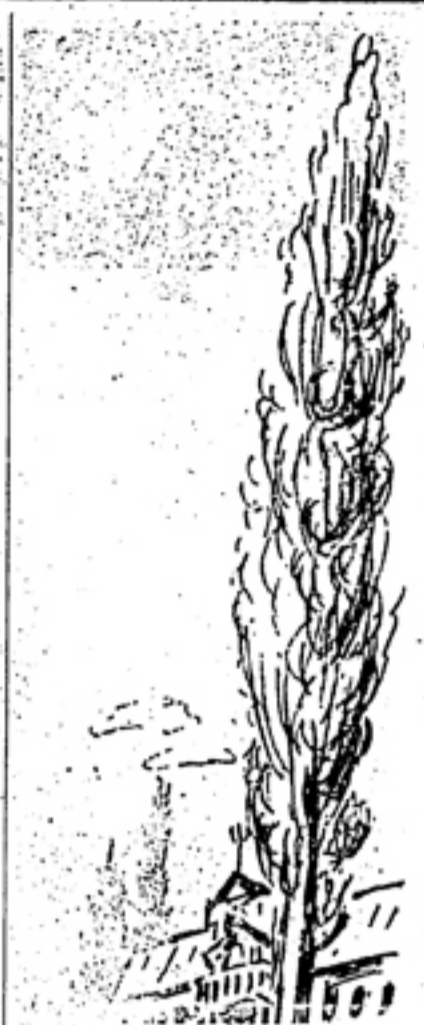
文部大臣 田中耕太郎

## 祭 詞

茲ニ母校小樽經濟專門學校創立三十五周年記念祝典ヲ舉行セラルニ際シ吾ガ緑丘合亦隨ンテ指テ設ケテ、哀ミテ祈ニ誠ヲ致シ清酌庶幾ノ契ヲ以テ物故教授職員ニ物故會員諸氏ノ英靈ヲ祭ル。諸氏ノ夙ニ本會ニ籍ヲ同ジシ、俊秀卓抜ノ材、醇美高微ノ情、以テ學術ノ進歩ニ、産業ノ發展ニ、國勢ノ開拓ニ日夜研究貢獻ヲ重メタル諸氏、二期シテ創立三十五周年ノ盛典ニ邁リ、母校ノ校運ハ愈々隆昌ニシテ、母校ノ光彩ハ益々顯著ニシテ六千ノ緑丘人誰カ今日ノ快事ヲ詠歌セザルモノアラズ。然ルニ諸氏既ニ永歸シ、復タ來期ナシ風露ヲニ清冷、楓葉亦自ラ色ヲ加フルノ時吾人ハ故丘ニ低徊シテ追憶ヲ禁ズル能ハズ、諸氏ノ英靈ハトコロシナヘニ亡ビズ、諸氏ノ遺囑共々敬ナリト雖モ哀情誠ニ切ナリ尙テハ努メテトシテ來リ奉セヨ。

昭和二十一年十月五日

社団法人 緑丘會  
理事長 飯川文三



學生雜感

現代の學生は、昔と異なり、夏に活動力をつけて、夢見と理想の如き理想の世界を築き、その理想の世界に生きていく。...

日本の性格

川村三千雄

日本の性格は、昔と異なり、夏に活動力をつけて、夢見と理想の如き理想の世界を築き、その理想の世界に生きていく。...

愛別の詩

吉米地英俊

愛別の詩は、昔と異なり、夏に活動力をつけて、夢見と理想の如き理想の世界を築き、その理想の世界に生きていく。...

この時代の精神は、昔と異なり、夏に活動力をつけて、夢見と理想の如き理想の世界を築き、その理想の世界に生きていく。...

日本の性格は、昔と異なり、夏に活動力をつけて、夢見と理想の如き理想の世界を築き、その理想の世界に生きていく。...

愛別の詩は、昔と異なり、夏に活動力をつけて、夢見と理想の如き理想の世界を築き、その理想の世界に生きていく。...

この時代の精神は、昔と異なり、夏に活動力をつけて、夢見と理想の如き理想の世界を築き、その理想の世界に生きていく。...

白き交響曲
わがこころの観察曲

白き交響曲
わがこころの観察曲

白き交響曲
わがこころの観察曲

白き交響曲
わがこころの観察曲

学校新聞のありかた
編輯部長 丸山泰男

学校新聞のありかた
編輯部長 丸山泰男

学校新聞のありかた
編輯部長 丸山泰男

学校新聞のありかた
編輯部長 丸山泰男

お知らせ
小樽経済専門学校の諸問題

お知らせ
小樽経済専門学校の諸問題

お知らせ
小樽経済専門学校の諸問題

お知らせ
小樽経済専門学校の諸問題

二十三期諸兄へ
英語の友





三十五周年記念經濟論文審査結果

入選作 「經濟理論に於ける自然法思想及び功利主義思想の批判」 伊藤 吉

經濟理論に於ける自然法思想及び功利主義思想の批判

伊藤 吉

Main body of the article 'Critique of Natural Law and Utilitarianism in Economic Theory' by Yoshitaka Ito. It discusses the relationship between economic theory and moral philosophy, specifically focusing on natural law and utilitarianism.

審査を終えて

南亮三郎



三つの國

木村重義

Three countries (三つの國) by Shigeaki Kimura. A short story or essay discussing international relations or national identity.

試行誤謬法に關する若干の考察

長谷部 亮一

Several articles and sections including 'Trial and Error Method' (試行誤謬法に關する若干の考察) by Ryūichi Hasegawa, and other shorter pieces.

Bottom section containing various notices, advertisements, and a list of graduates (新卒業者ノ部) under the heading '求人廣告' (Job Advertisements).